

久しぶりに

再会

した

♡お嬢様♡

は

♡
んごっ
た。



大学卒業後
都会で就職出来なかった俺は
田舎へと帰ってきた



親の反対を押し切って都会に出たのに
結局帰ってくる事になってしまった

親からは実家で過ごしなが
ら仕事を見つけてほしいと言われたが
変な見栄をはって断ってしまった

ゴロ
ゴロ

なので今は
仕事もなし宿もなしの
何にもなしである

ポッ



あ、あの...



帰ってきて早々雨なんてついてないな!

びしょ

びしょ



お、丁度いい所に屋根付きバス停!



とりあえずここでしばらく雨宿りでもするか...

あっ...



お兄様…？

み、見てない！
俺は何もみてないぞ！
だから通報しないでくれ！
すぐ出ていくから！



またお会いできるなんて…
なんと偶然…！

やっぱりそうです！
お兄様！
私です！
乃蒼でございます！

えっ…？

乃蒼：・姫終乃蒼
俺が上京する前の高校生の時に
出会ってなんだかんだ付き合いのあった子だ

当時の出会いはいたってシンプルな物で
街中で迷子になっていた乃蒼を
俺が家までお送り届けたという程度の事

当時の乃蒼は相当な箱入りのお嬢様で
初めてひとり外にでた矢先の迷子
だったらしい



そのことを乃蒼と両親から感謝され
そこから俺と乃蒼の関係が始まった

乃蒼は俺の事をお兄様とよび慕ってくれた
俺も乃蒼を妹みたいに可愛がっていた
その関係は今も続いている



ああ：久しぶりだな：・乃蒼
直接合うのは4年ぶりか？

はい、そうですね！
：・お兄様？
顔を逸らしてどうなさったんですか？



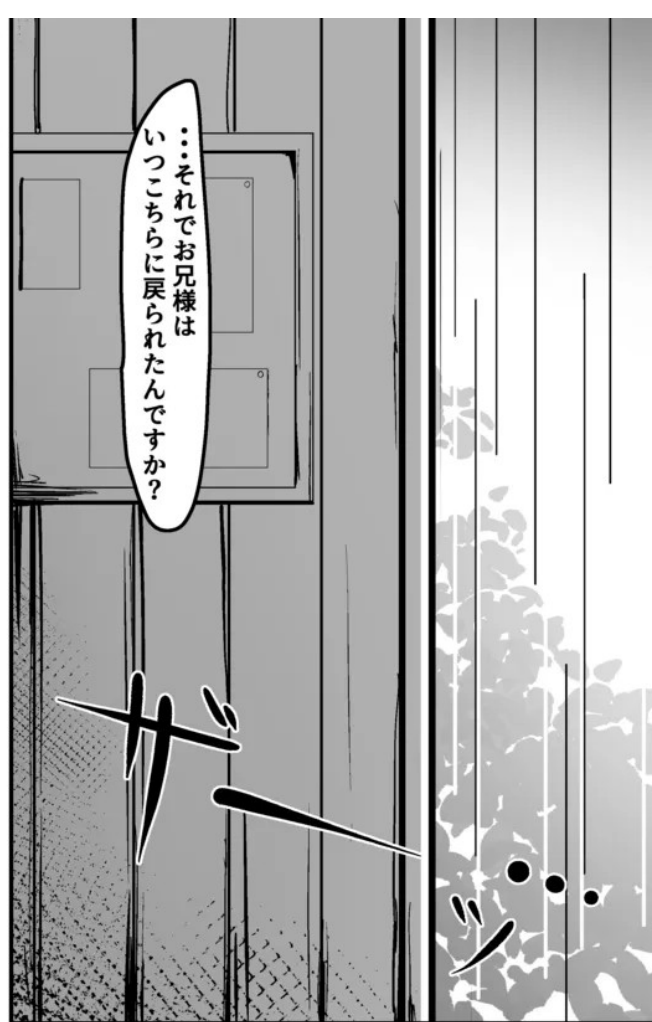
えっと：それはだ
言いにくいんだが：





あー！えー！と
それは話すと長いんだが…
実はな…

事前に教えて下されば
おかえりなさいのパーティーを
することもできましたのに



…それでお兄様は
いつこちらに戻られたんですか？

俺は都会での就職に失敗した事
特にあてもなく地元に戻って来た事を
正直に話した



そうだな、だからこれからしばらく
ココでひっそりと仕事を見つけて
生きていくさ

ま、今はそれよりも
住むところを探さないただけだな



そんな…都会は
恐ろしい所なんですわね…

ああそうだ
4年前意気揚々と都会に
でといてこのザマだ

そ、それは本当でございますか
お兄様…！



待って下さいお兄様!!

さ、雨も上がったみたいだし
俺は先に行くな
久しぶりに会えてよかったわ
色々落ち着いたらまた連絡するよ



ああ、これから探さ
見つからなかったら最悪野宿だな

え、住む家も決まっ
てないんですか?!



決まるまで
私の家にお泊りに
なりませんか?

その...今住む所が
決まってないのなら...



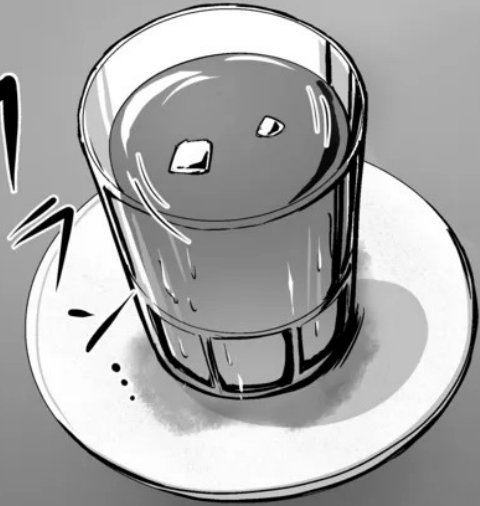
乃蒼の家



…ほんとにすまん
家を見つけたらすぐでてくから



そんなに頭を下げないで下さい
全然気にしなくていいですよ



そ、そうか…？
でもな…

お兄様は昔私を助けてくれました
その時の恩が返せて
私はとても嬉しいんですよ



乃蒼…

それではこれから
濡れた服のお洗濯をします
ついでに私も着替えてきますので



お兄様はゆっくりくつろいで下さいね







アッ...アッ...アッ...

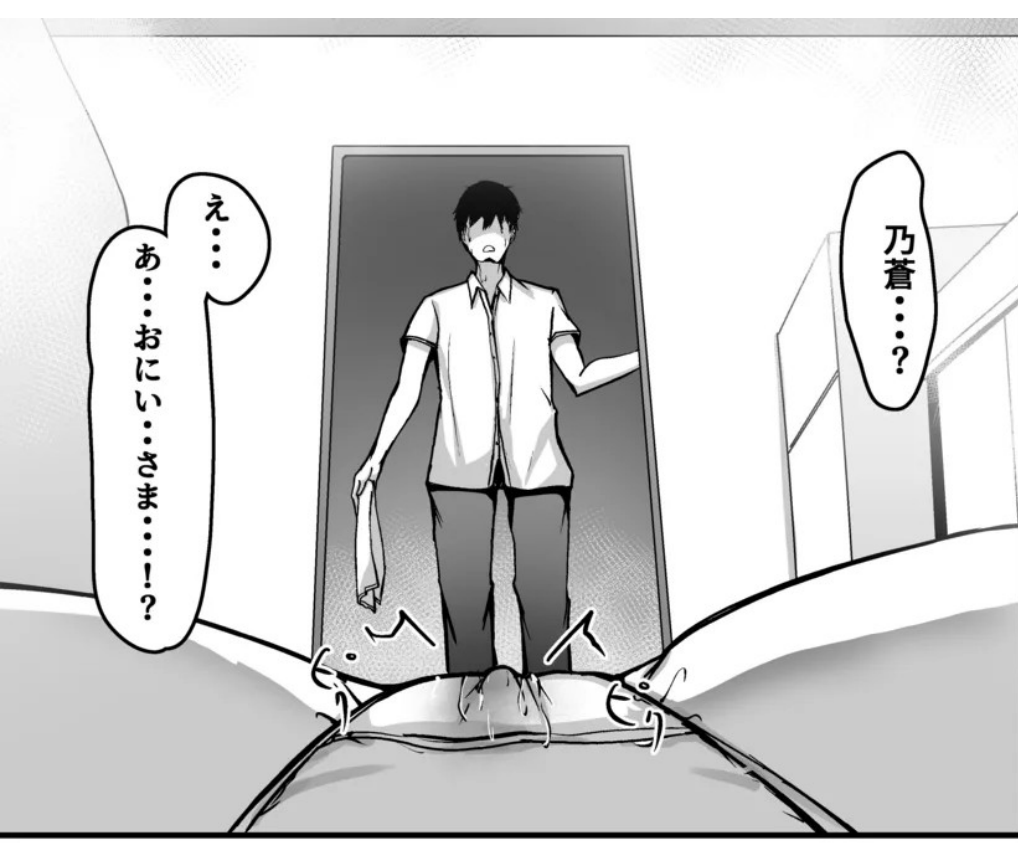
アッ...アッ...アッ...
アッ...アッ...アッ...

アッ...アッ...アッ...

アッ...アッ...アッ...

アッ...アッ...アッ...

アッ...アッ...アッ...



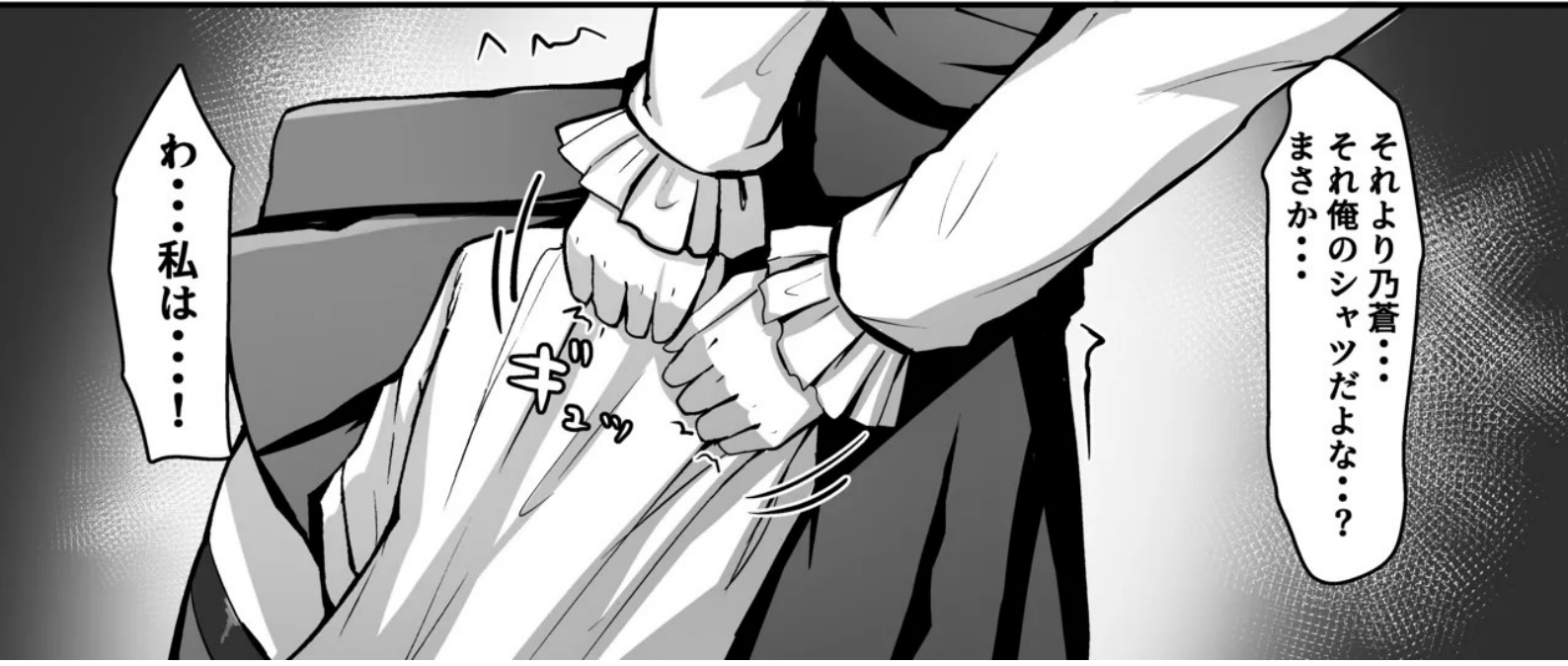
え…
あ…おにい…さま…!?

乃蒼…?



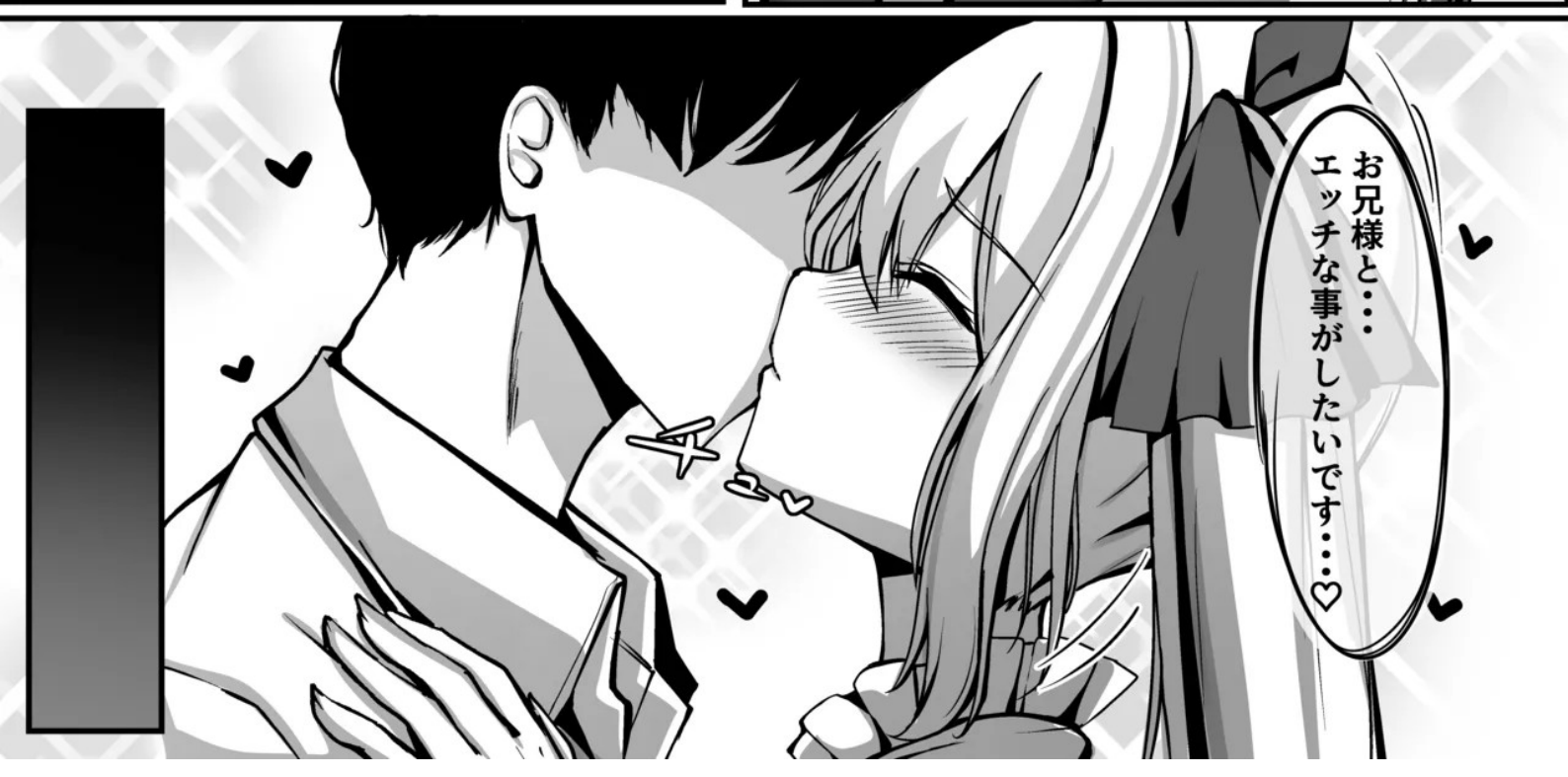
俺は出し忘れた
タオルがあったから…
これも洗ってもらおうと…

どうして脱衣所まで…?!



わ…私は…!

それより乃蒼…
それ俺のシャツだよな…?
まさか…



お兄様、お着替え終わりました♡



たぶん♡

たぶん♡

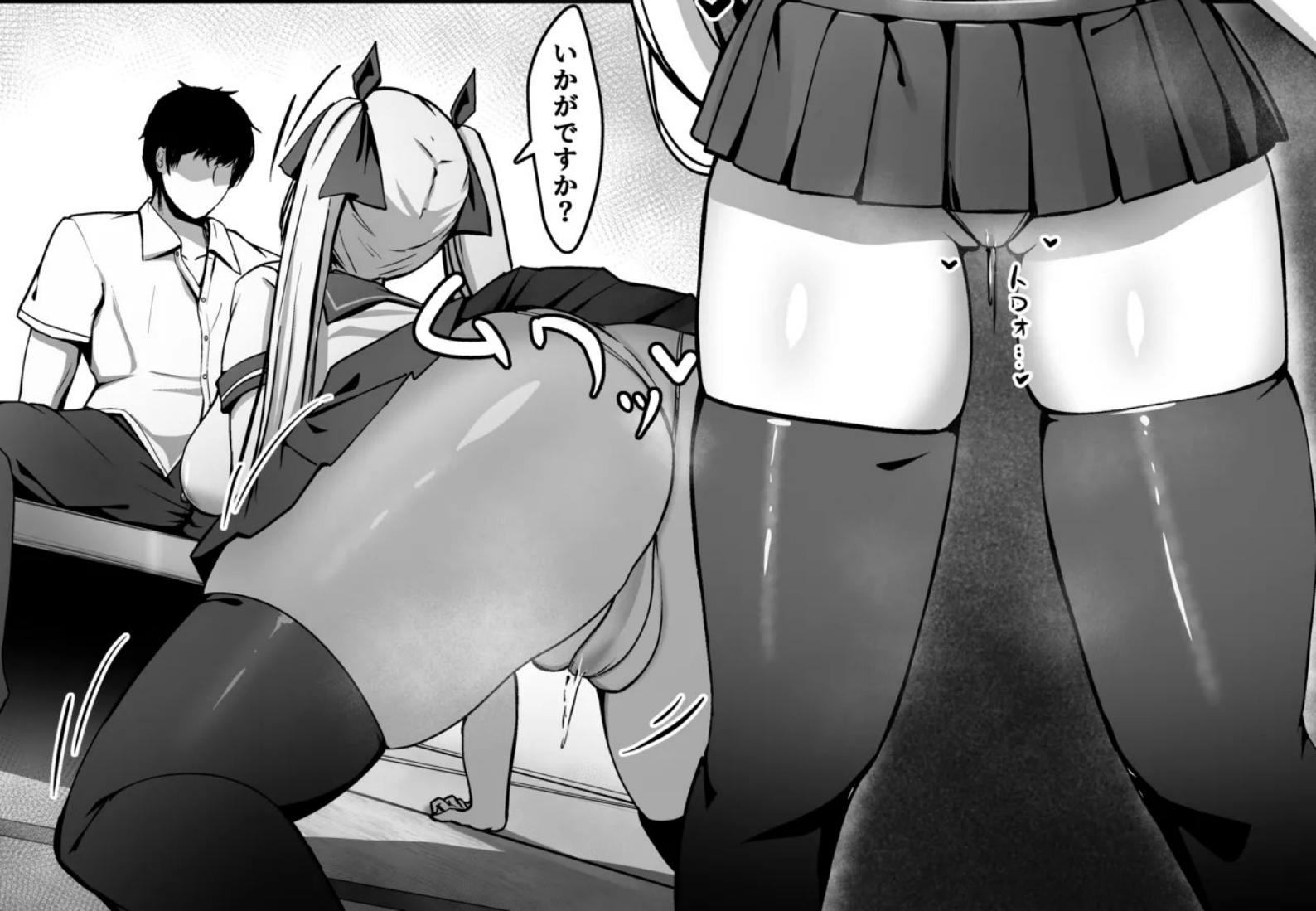
おっぱい♡

おっぱい♡



乃蒼…その服は…!!

いつかお兄様とえっちな事にと
用意していたお洋服です♡



いかがですか?



おちんちんでお応えいただけるなんて
嬉しいです♡

ボロン♡



いっぱい気持ちよくして
差し上げますね♡お兄様♡

んんんん♡

んんんん♡

んんんん♡

んんんん♡

んんんん♡





乃蒼のおっぱいを堪能して貰います♡
お兄様♡

グハッ

グハッ

グハッ

た。ま。ご。





う・乃蒼・
もうイキそうだ...

た・ぽん
た・ぽん

た・ぽん
た・ぽん

フツ
フツ



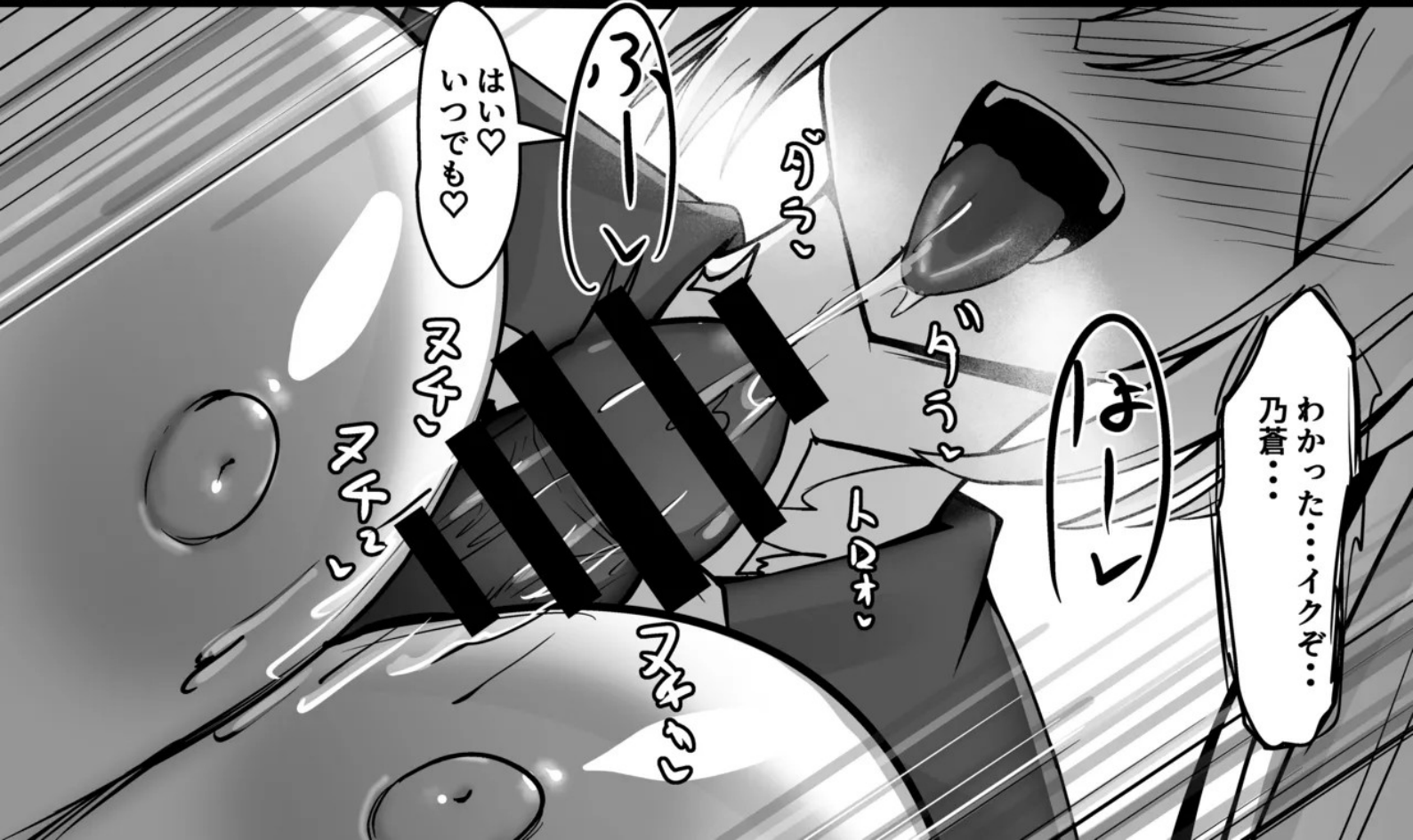
わかりました
いつでも出して下さる♡

乃蒼のおっぱいとお口で受け止めますから♡

ふにゅ
ふにゅ

ふにゅ

ふにゅ



わかった...イクぞ...
乃蒼...

ふにゅ

ふにゅ

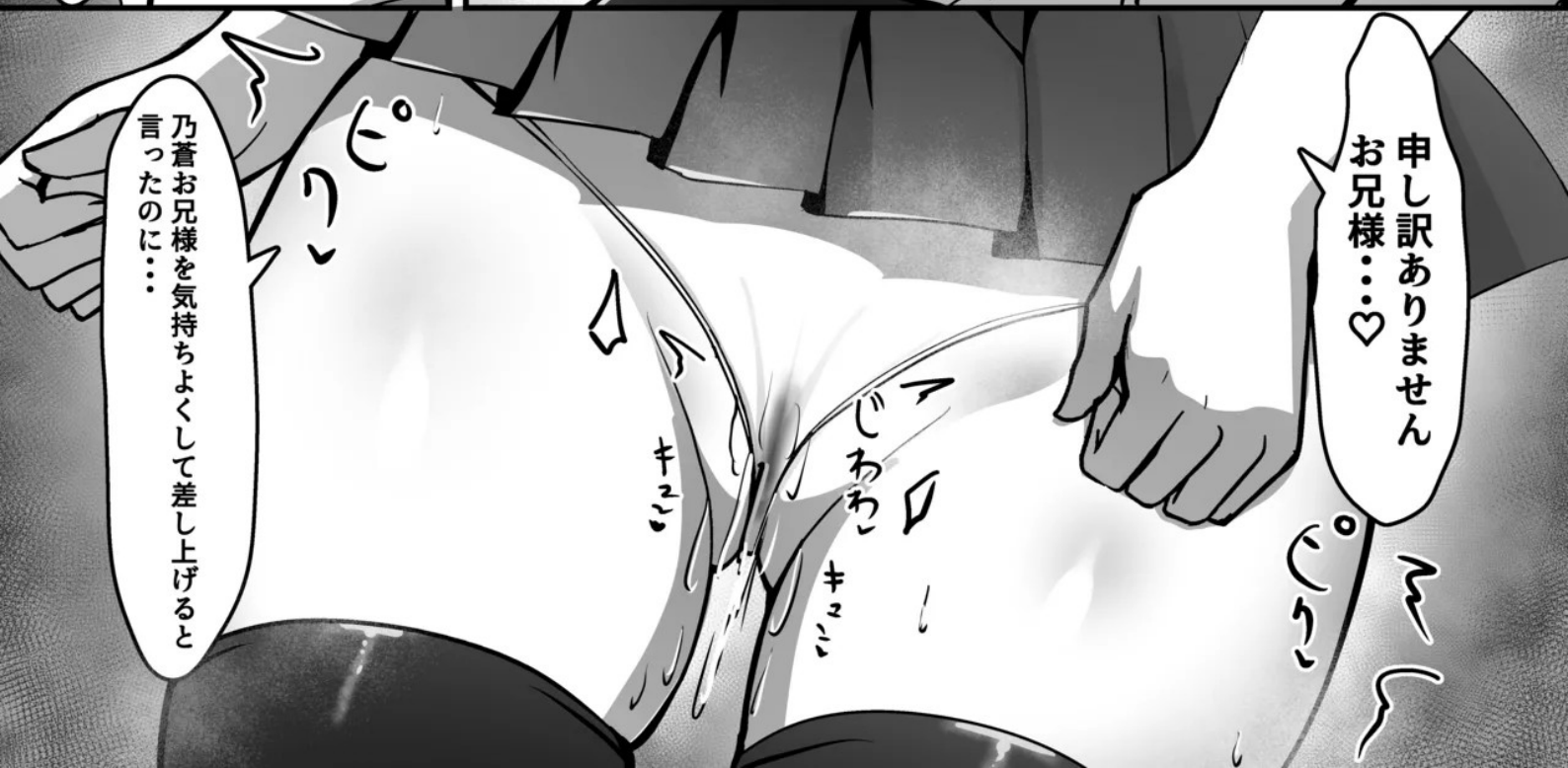
ふにゅ

ふにゅ

ふにゅ

ふにゅ

ふにゅ









乃蒼…もうでそうだ…
ゴムつけてないけど…
中にだしていいか…?

もちろんですお兄様♡

あー♡

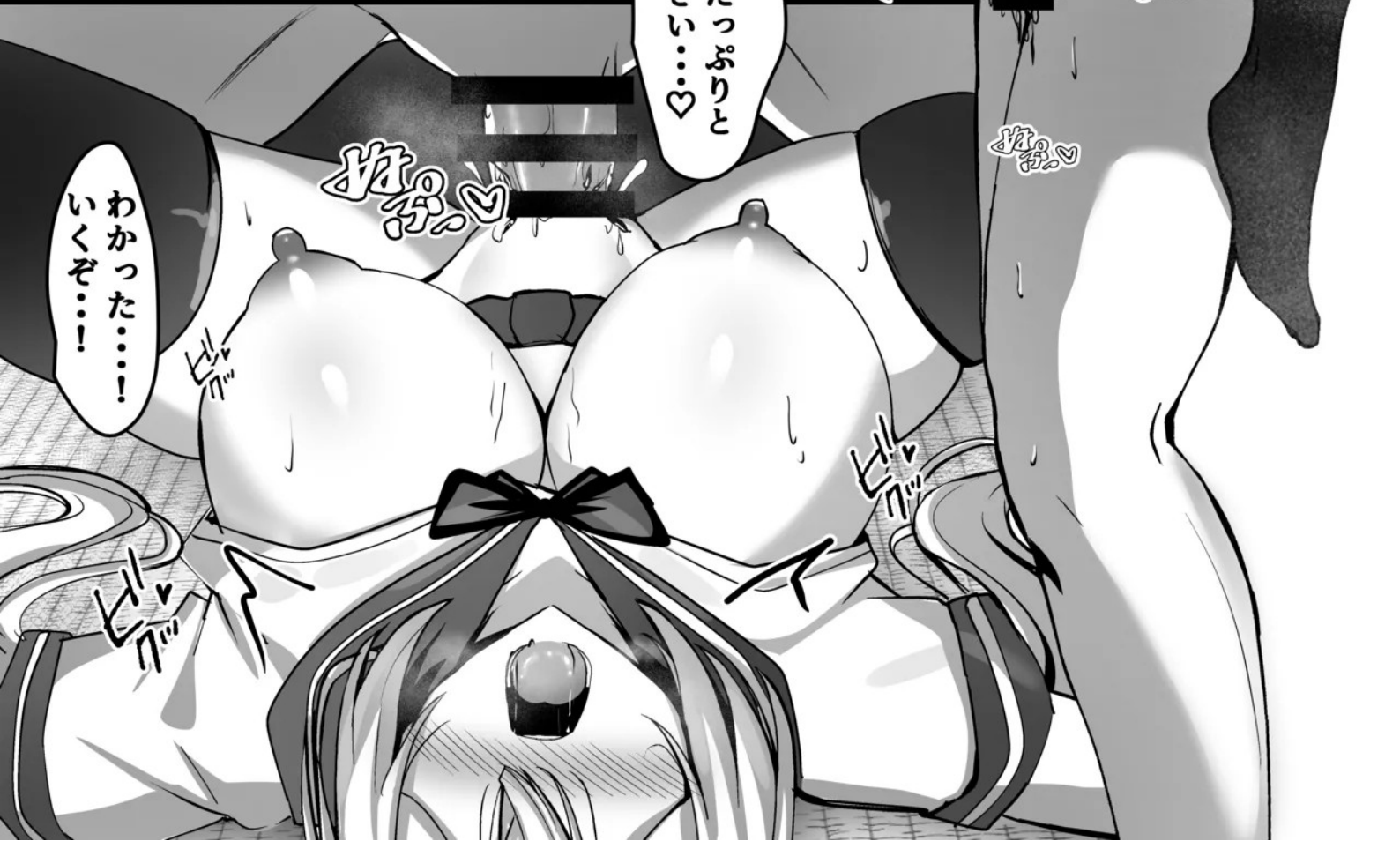
あー♡

んっ♡

んっ♡

乃蒼のナカにたっぷりとお兄様のを下さい…♡

んっ♡



わかった…!!
いくぞ…!!

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

さあお兄様
綺麗になりましたし



また…欲しいです…♡

まー

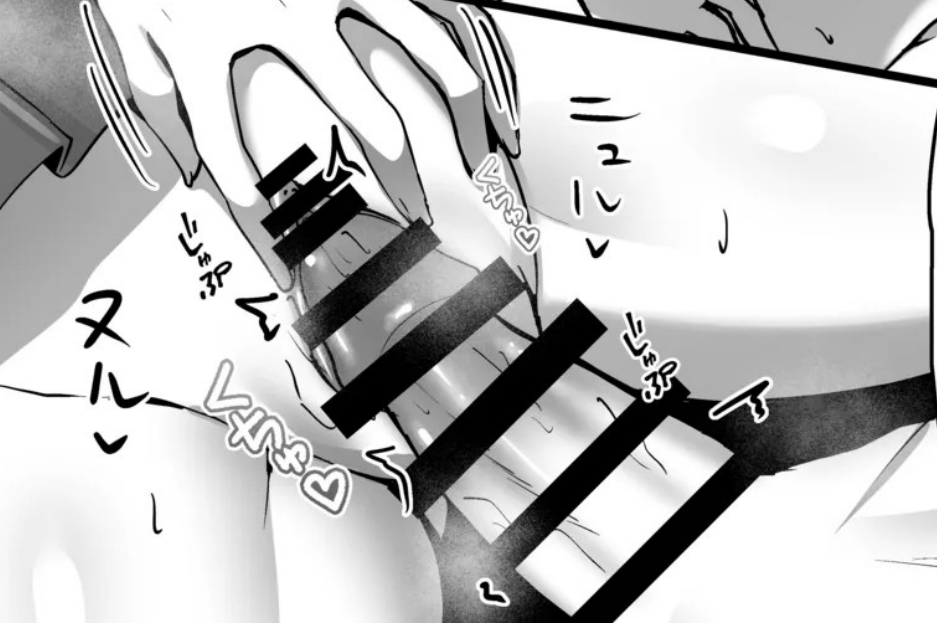
はー

あんなにしたのにまだ
欲しがるなんて…
乃蒼は本当に変態なお嬢様だな…!!



だってまだ物足り
ないですもの…♡

さあお兄様…
シて…下さいますか？



乃蒼の膺の奥まで……
ちゃんと舐めてやる……!

あ……ありがとうございます……!
おどろき……♡



あつすご…お兄様のおちんぽ…
一番おく…まで…!!

あつすご

ズッ

ズッ

ニ
ニ
ニ

んあ

いくぞ…乃蒼…!!
変態お嬢様への躰の中出しだ…!!

まっ

あつ

んあ

んあ





あの子

おっぱい

ジュッ
ジュッ
ジュッ
ジュッ



朝か…



それから数日
結局俺は乃蒼の家に居候しているままだ
早く仕事を探して家をでなければならぬと
思っているんだが…

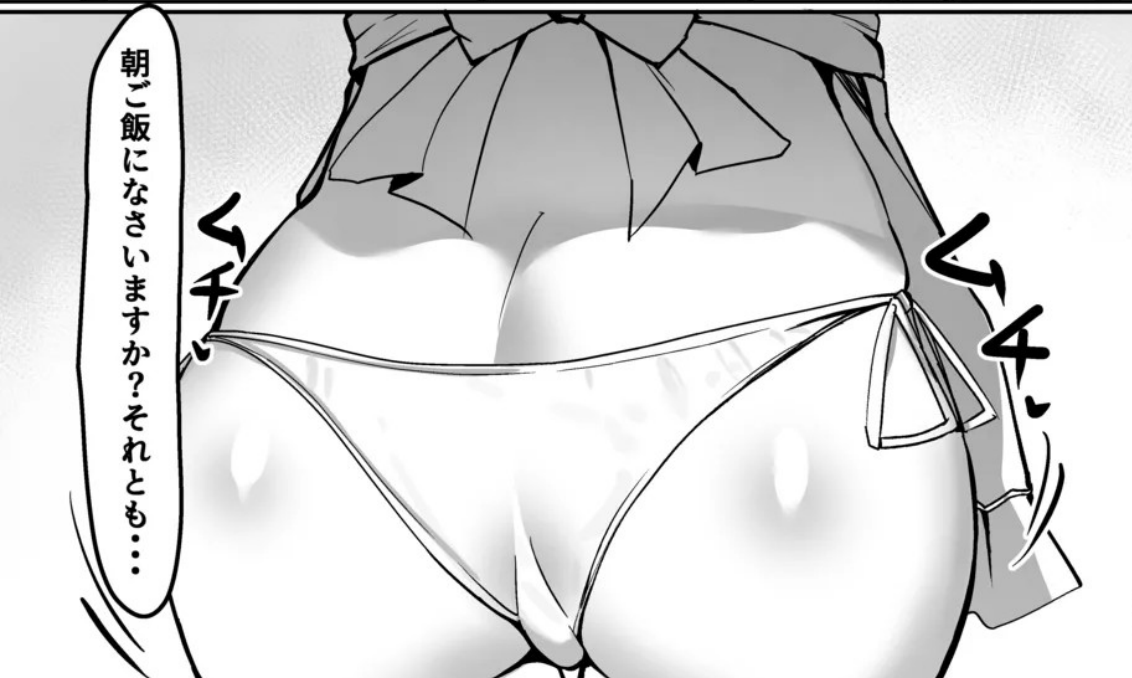


おはようございますお兄様

クルル



今日こそは仕事を探しに…



朝ご飯になりますか？それとも…





乃蒼を召し上がりますか……?

トキッ

カッ

カッ







